

伊達な旅ガイド

Vol.359

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

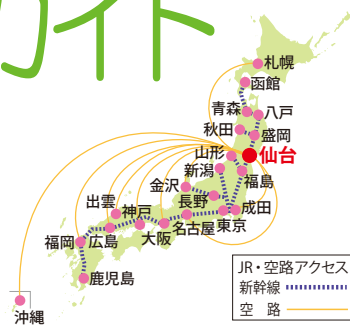
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
18:24~18:30
BS-TBSにて大好評放送中



仙台・宮城
観光PRキャラクター
むすび丸



JR・空路アクセス
新幹線
空路

今回の伊達な旅MAP



JR東北新幹線古川駅下車、車で20分
東北自動車道古川ICから

2019年
7月22日
放送

世界農業遺産「大崎耕土」の旅



広大な水田と中に浮かぶ森のような農家の屋敷林「居久根(いくね)」

平成29年に世界農業遺産に認定された大崎耕土。大崎市を訪れ、巧みな水管理と世界農業遺産に触れてみてはいかがでしょうか。

宮城が誇る世界農業遺産「大崎耕土」

みなみはらあなせき
南原穴堰

スタート

南原穴堰水利用組合長
上野耕作さんが
案内します!



穴堰の取水口。かなり山奥の源流から水は取り込まれ、運ばれてきます。

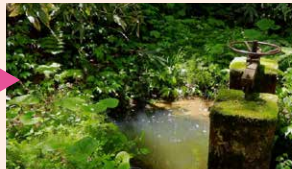


水管理の伝統は脈々と受け継がれてきました。

ゴール



ここから水は先人が苦勞して作った全長約1880メートルのトンネルへ入ります。



富ノ巣狭間という南原穴堰最後のトンネルの結節点です。トンネル内部の土砂を取り除く役割も果たします。



トンネルの出口、穴尻。

ZOOM UP



裏手の用水から取り込んだ水を生活用水として今でも使っています。生活と密着した水の利用が大崎耕土の特徴の一つです。

大崎市教育部文化財課
車田 敦さん

「南原穴堰は今から約370年ほど前に鳴子村の村長遊佐平左衛門宣次さんが山間地でも農業ができるように作った水路です」



旧有備館

Tel.0229-23-2281
(大崎地域世界農業遺産推進協議会事務局)



伊達政宗公が岩出山に居城を構えていた時に掘られたというこの川の水は、さまざまな形で利用されてきました。

鎌田三之助展示室

Tel.0229-56-6311 (鎌田記念ホール)



鹿島台にある鎌田三之助展示室。世界農業遺産への道を開いた先人の一人。水害に苦しむ村人を救うため、私財を投げ打ち、親子三代で水害の元となった品井沼の干拓事業に貢献しました。